

## 外国語（教科型） 学習指導案

学校名 海田町立海田小学校  
授業者 HRT 濱田 一旨  
外国語担当 清水由美子

- 1 日時 平成29年6月16日（金）第6校時
- 2 学年 第6学年1組 男子21名 女子15名 計36名
- 3 単元名 Dream 6-3 I can swim well. **ぼくのわたしのいいところ**  
<Hi, friends! 2 Lesson 3 I can swim.  
(できること, 動作, スポーツ, 楽器, 身の回りの物) >

#### 4 単元について

- 本単元は、スポーツや楽器の演奏など身近な活動に対して、自分ができることやできないことを伝えたり、できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、単元の最後には、友達のできることを紹介する活動を設定している。また、学習後の活動として、自分が尋ねてみたいことを考え、参観日に保護者へのインタビューを行うことを予定している。

本単元で用いる表現は、発表活動やコミュニケーション活動にも頻繁に使われる内容であり、自他の自尊感情を大切にしながらの交流に活用できるものである。中学校英語科では第1学年教科書（SUNSHINE ENGLISH COURSE 開隆堂）Program 8 *origami* で学ぶもので、助動詞を用いた表現の基礎となる内容である。

- 本学年の児童は、第1, 2学年時に年間7時間、第3, 4学年時に年間13時間、第5学年では20分と25分の短時間学習も含めた年間35時間の外国語活動を学んできている（1～4年は裁量時間）。また、第3学年からは毎日各学級で「ひとくち英語」に取り組み、外国語に触れている。

学習にまじめに取り組む児童が多く、男女の仲もよいため英語での交流活動もスムーズに行うことができる一方、自信がもてるまでは積極的に発話できない児童も多く、即時的な反応や発話が出づらいつ傾向にある。分からないことでも何とかして表現してみようという意欲をもたせることや、自信をもって表現させることが課題である。

- 指導に当たっては、3人グループでお互いのよさを紹介しあう発表形式にすることで、児童が助け合いながら自信を持って発話できるようにする。また考えた文をただ一方的に述べるのではなく、聞き手が反応の言葉（Me, too. や Oh, really? など）を用いてやり取りを行うことで、相手意識をもったコミュニケーションが行われるようにする。学級担任や外国語担当が紹介のモデルを示し、話す内容だけでなく、話し方や表情なども含めたコミュニケーションの望ましい姿を見せることで、児童のコミュニケーションの態度の育成を図る。また、学級担任が積極的に英語を使おうとすることで、児童が間違いを恐れず進んでコミュニケーションを図ろうとする雰囲気づくりを行っていく。

三人称 He/She は初出であるが、児童の知っている有名人等の紹介で例示することで、使い方に自然に気付かせていく。さらに、文字と絵を示したカードを用いて語順のとおり並べて掲示することで、聞いたり話したりしている表現の文字や語順を意識させる。

## 5 単元の目標

○他者に配慮しながら自分や第三者ができることできないことなどを説明しようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○できることやできないことを言ったり，尋ねたり答えたりする。 【外国語への慣れ親しみ】

○できることなどについて，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり，相手に伝える目的をもって書き写したりする。 【外国語への慣れ親しみ】

○英語と日本語の語順の違いに気づく。 【言語や文化に関する気づき】

○活字体の文字とその音の関連に気付く。 【言語や文化に関する気づき】

## 6 単元の評価基準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気づき
・他者に配慮しながら自分や第三者ができることできないことなどを説明しようとしている。	・自分や友達のできることやできないことを言ったり，尋ねたり答えたりしている。 ・できることなどについて，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり，相手に伝える目的をもって書き写したりしている。	・英語と日本語の語順の違いに気付いている。 ・活字体の文字とその音の関連に気付いている。

## 7 使用表現・語彙

### 【主な使用表現・語彙】

- ・ Can you (sing well)? Yes, I can./No, I can't. ・ I/You/He/She can/can't (sing well).
- ・ 動作 (do, swim, cook, sing, ride, dance, speak, draw), fast, well, high
- ・ スポーツ(badminton, judo, karate, kendo) ・ 楽器(recorder, piano, guitar)
- ・ 身の回りの物 (bicycle, unicycle)

### 【繰り返しの使用表現・語彙】

- ・ I like (soccer). ・ Do you like (soccer)? Yes, I do./No, I don't. I don't like (soccer).
- ・ スポーツ，楽器，身の回りの物
- ・ 反応の表現 (Me, too. Me, neither. Oh, really? Great! など)

## 8 単元計画（5時間【（1，3，5時）3時間＋（2，4時）6モジュール（15分）】）

時	目標と主な活動	評価				
		コ	慣	気		
1	○英語と日本語の語順の違いに気づく。 ○できることやできないことを言う。 自分ができるところを言う。 ・【短い話を聞く活動】「先生たちがどんなことについて話しているのか聞いてみよう。」 ・「動作を表す表現を知ろう。」 ・「ジェスチャーゲーム」			○	・英語と日本語の語順の違いに気付いている。 ・自分や友達のできることやできないことを言っている。	行動観察， 振り返りカード分析

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できることやできないことを表す言い方を知ろう。」</li> <li>・【Activity1】「できること、できないことを友だちと伝え合おう。」</li> </ul>					
2	<p>○活字体の文字とその音の関連に気付く。 ○できることやできないことを言う。 ○できることなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり、相手に伝える目的をもって書き写したりする。</p> <hr/> <p><b>A</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いろいろな動作を表す言葉を知ろう。</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いろいろな動作を表す言葉を言ってみよう。」</li> <li>・「自分やペアの友だちができることを表す言葉を探そう。」</li> <li>・「自分の好きな○○ができることを表す言葉を探そう。」</li> </ul> <hr/> <p><b>B</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○○になりきって、できることを言ってみよう。</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「できることやできないことを表す言い方を練習しよう。」</li> <li>・「この人ができることを言ってみよう。」</li> <li>・「自分の好きな○○になりきって、できることを言ってみよう。」</li> </ul> <hr/> <p><b>C</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">できることやできないことを伝える表現をマスターしよう。</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【Listen 1】 あいとひかるのできること、できないことを聞き取ろう。</li> <li>・【Write】 できることやできないことを伝える表現を書き写してみよう。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活字体の文字とその音の関連に気付いている。</li> <li>・自分や友達のできることやできないことを言っている。</li> <li>・できることなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり、相手に伝える目的をもって書き写したりしている。</li> </ul>	<p>行動観察, ワークシート点検, 評価問題 (ワークシート) 振り返りカード分析</p>
3	<p>○英語と日本語の語順の違いに気づく。 ○できることやできないことを言ったり、尋ねたり答えたりする。</p> <hr/> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">友だちにできるかどうかを尋ねてみよう。</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【短い話を聞く活動】「先生たちがどんなことについて話しているのか聞いてみよう。」</li> <li>・「できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知ろう。」</li> <li>・【Chant】 Can you swim?</li> <li>・「先生ができるかどうかを予想して、尋ねてみよう。」</li> <li>・【Activity 2】「友達にインタビューして、サインをもらおう。」</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語と日本語の語順の違いに気付いている。</li> <li>・自分や友達のできることやできないことを言ったり、尋ねたり答えたりしている。</li> </ul>	<p>行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析</p>
4	<p>○できることやできないことを尋ねたり答えたりする。 ○できることなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡</p>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や友達のできることや</li> </ul>	<p>行動観察, ワークシー</p>

	<p>単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり,相手に伝える目的をもって書き写したりする。</p> <p>A 「Who am I? (私は誰でしょう) クイズ」を作ろう。  ・【Chant】 Can you swim?  ・『Who am I? (私は誰でしょう) クイズ』を作ろう。」</p> <p>B 「Who am I? (私は誰でしょう) クイズ」をしよう。  ・【Chant】 Can you swim?  ・「できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を練習しよう。」  ・「Who am I? (私は誰でしょう) クイズ」</p> <p>C できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現をマスターしよう。  ・【Listen 2】 さくら, たく, さゆりの会話を聞いて, できること, できないことを聞き取ろう。  ・【Write】 できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を書き写してみよう。</p>			<p>きないことを言ったり, 尋ねたり答えたりしている。</p> <p>・できることなどについて, 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり, 相手に伝える目的をもって書き写したりしている。</p>	<p>ト点検, 振り返りカード分析</p>
<p>5 本時</p>	<p>○他者に配慮しながら自分や第三者ができることできないことなどを説明しようとする。  ○できることやできないことを言ったり, 尋ねたり答えたりする。</p> <p>友だちのできることを紹介しよう。  ・【短い話を聞く活動】「先生たちがどんなことについて話しているのか聞いてみよう。」  ・「3人組でお互いを紹介する練習をしよう。」  ・「友だちのできることを紹介しよう。」  ●単元ふり返しカードの記入</p>			<p>・他者に配慮しながら自分や第三者ができることできないことなどを説明しようとしている。</p> <p>・自分や友達のできることやできないことを言ったり, 尋ねたり答えたりしている。</p>	<p>行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析</p>

<後日, 参観日での活動>

保護者の方々に, できるかどうかを尋ねてみよう。

・参観されている保護者の方々のうち1人だけができること, 全員ができることを予想して質問を考え, インタビューを行う。

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

・他者に配慮しながら自分や第三者ができることできないことなどを説明しようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

・できることやできないことを言ったり, 尋ねたり答えたりする。【外国語への慣れ親しみ】

(2) 本時の評価規準

- ・他者に配慮しながら自分や第三者ができることできないことなどを説明しようとしている。
- ・自分や友達のできることやできないことを言ったり，尋ねたり答えたりしている。

(3) 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

- ・ I/You/He/She can/can't (sing well).   ・ Can you (sing well)? Yes, I can./No, I can't.
- ・ 動作 (do, swim, cook, sing, ride, dance, speak, draw), fast, well, high
- ・ スポーツ(badminton, judo, karate, kendo)   ・ 楽器(recorder, piano, guitar)
- ・ 身の回りの物 (bicycle, unicycle)

【繰り返しの使用表現・語彙】

- ・ 反応の表現 (Me, too. Me, neither. Oh, really? Great! など)
- ・ I like (soccer).   ・ Do you like (soccer)? Yes, I do./No, I don't. I don't like (soccer).
- ・ スポーツ, 楽器, 身の回りの物

(4) 準備物

タブレット【デジタル教材 (ICT 教材)】，教師用絵カード，表現カード，ワークシート

(5) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て ★めざす子どもの姿	評価基準 [評価方法]
導 入	<p>○挨拶をする。</p> <p>○ICT 教材 (can/can't) ・ ICT 教材を聞きながら，リズムの って動詞を言う。</p> <p>○【短い話を聞く活動】「先生たちが どんなことについて話しているのか 聞いてみよう。」 ・ He/She can ～ . を用いた話を聞いて て，お互いのできることを紹介してい ることに気付く。</p>	<p>◇はっきりとした声で，気持ちのよい 挨拶を交わす。</p> <p>◇英語らしい発音を意識させながら， 一緒に言う。</p> <p>◇できることをジェスチャーで表した り，反応の言葉をつけたりしながら， 児童に話している内容を想像させる。 ◇内容とともに，どんな音が聞こえて きたかにも意識して聞かせ， he/she を 用いていることに気付かせる。</p>	
<p>T1: 来月，椋さんがこのクラスに来るのだけれど，僕のことはあまり知らない だろうから，自己紹介をしたいと思っています。インターナショナル スクールに通っているから，英語で言ってみようかと思うんですけど。</p>			

	<p>T2: じゃあ、お互いにいいところを紹介しあうのはどうでしょう。</p> <p>T1: そうですね、やってみましょう。</p> <p>T1: Hello, I'm Hamada Kazushi. T2: He can swim well.</p> <p>T2: And he can catch fish in the Seno river.</p> <p>T2: Hello, I'm Shimizu Yumiko. T1: She can use a computer.</p> <p>T1: And she can sing well.</p>		
展	<p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>友だちのできることを紹介しよう。</b> </div>		
開	<p>○「3人組でお互いを紹介する練習をしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう一度指導者のモデルを見て、紹介の仕方を知る。</li> <li>・有名人の写真を見ながら、He / She can ~. を用いてできることを発表し、全員で表現の練習を行う。</li> <li>・3人組でお互いのできることを紹介する練習を行う。</li> <li>・さらに相手に思いが伝わるような紹介にするには、どのような工夫をすればいいのかを考える。</li> <li>・指導者のモデルに、反応の言葉を加えるなどの工夫をしてやってみる。</li> </ul>	<p>◆この後の活動で自信を持って言えるように、丁寧にゆっくりとやって見せる。</p> <p>◇He / She can ~. の表現は初出のため、文字カードを示しながら、ゆっくりと言う。</p> <p>◆机間指導を行い、うまく言えていないグループのそばで一緒に言うなどして支援を行う。</p> <p>◇ジェスチャーや表情をつけたり、反応の言葉を添えたりすれば、思いが伝わることに気付かせる。</p> <p>◆今までに用いた反応の言葉のカードを提示し、その他の表現を引き出す。</p>	<p>・他者に配慮しながら自分や第三者ができることできないことなどを説明しようとしている。</p> <p>【コ】[パフォーマンス評価(発表), 振り返りカード分析]</p> <p>・自分や友達のできることやできないことを言ったり、尋ねたり答えたりしている。</p> <p>【慣】[パフォーマンス評価(発表), 振り返りカード分析]</p>
	<p>T1: Hello, I'm Hamada Kazushi. T2: He can swim well. SS: Nice!</p> <p>T2: And he can catch fish in the Seno river. SS: Great!</p> <p>T2: Hello, I'm Shimizu Yumiko. T1: She can use a computer. SS: Me, too. T3: And she can sing well. SS: Oh, really?</p>	<p>◇紹介を聞く際にも、"Really?" "Great"などの反応の言葉を添えるよう声をかける。</p> <p>◆うまく紹介できない児童のそばで一緒に言うなどして支援を行う。</p>	

	<p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わるようにはっきりとした声で、友達のできることを紹介している。</li> </ul> <p>A: I'm Kaita Taro. B: He can play the piano. C: Great! C: And he can sing well, too. B: Oh, really?</p>	
<p>まとめ</p>	<p>○本時の活動をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者のできることを紹介するときには、He/She を用いて言ったことを確認する。</li> <li>・友達のできることの紹介で新たな発見があったことなどを発表する。</li> <li>・単元ふり返りカードを記入し、自己評価を行う。</li> </ul> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇単元を振り返って、今回学んだ表現で、自分や周りの人のできることを紹介できたことを振り返らせ、語彙を増やしてもっといろいろな表現で紹介したいという意欲をもたせる。</p> <p>◇今度の参観日に保護者の方々に Can you ~? の表現を使ったインタビューをすることを確認し、尋ねたいことをワークシートに記入するよう伝える。</p>

(6) 板書計画

